

「With コロナ時代における未来アイデア」応募用紙

○応募者

氏名・法人名・団体名	株式会社エイチ・ツー・オー
(法人・団体の場合)	
メールアドレス	
電話番号	

募集対象・応募資格適合への同意	同意します
暴力団関係者（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）に規定する暴力団をいう。）	該当しません

○応募内容

アイデア名	飲食店における会食時の発声による飛沫を抑制する警報装置
-------	-----------------------------

提案の概要（200字以内）
<p>本提案は、コロナ感染拡大の大きな要因とされている会食時の飛沫発生を抑制するために飲食中の【声の大きさ＝飛沫量】をデータ化し音量の大小を「見える化」することにより、大声を発する会食を自制させる卓上型警報装置と関連システムである。システムの発展型として記録された音量データを使った「静かな会食マナーポイント」の付加や警報器のデザインを地域マスコットにして飲食店への応援ツール化なども考えられる。</p>

提案のきっかけ ※様式自由
<p>コロナウイルスの感染要因の一つとして、マスクを外した会食時の大声を発した際の飛沫感染が明確になった。コロナ禍中飲食店には除菌や衝立の設置、席の間引きなど様々な感染対策を講ずるよう指導がされ、さらに緊急事態要請下においては感染源になる恐れから営業の自粛までも強いてきた。しかし、コロナウイルスが完全に無くなるという状態が見込めないこの先、いつまでも店側に我慢を強いる対策ばかりでは継続は難しく、本来は食事をする我々自身が「食事中は静かにしよう」「大声は控えよう」という意識を今以上に常習化することが大切であろう。コロナ感染初期段階では習慣化されていなかったマスクの常習化や手指消毒の徹底なども、繰り返し発信することで日常習慣化できたのと同様に、飲食の場におけるマナー改善についてもメッセージを繰り返し発信すれば効果は期待できる。</p> <p>「うるさい！」と店主や客から言われれば腹も立つが、卓上マスコットから指導されれば「ハイハイ」と従えるものである。接待の伴う会食の席では、仲間とのゲーム感覚で使えばなお良い。</p> <p>自粛規制に我慢を強いられている飲食店へのエールとなるような製品開発ができないものかと思案し本提案に至った。</p>

提案の狙い（実施することで解決される社会的課題または創出される価値） ※様式自由

1. コロナ禍の飲食マナーの普及。マスクを外した飲食時の大声は飛沫感染に繋がると認識させる。
2. 営業自粛要請により我慢ばかりを強いている現状に対し店舗や飲食業界へのエールとなる施策。
3. 店が客に対して大声を注意するのではなく、警報装置が注意喚起をすることで普及しやすい。
4. 営業時間と飛沫感染の科学的根拠が問われている中で、音量と飛沫量はデータ指針になれる。
5. 卓上警報装置のデザインを地域キャラクターや企業マスコットに似せたタイアップ施策。
6. 装置からの音量データを集計し、割引等のインセンティブを発行し販促施策として利用。

実現可能性や実現に必要な要素等 ※様式自由

1. 令和2年12月18日に特許庁より本件の実用新案登録が弊社の権利として完了しています。
2. 登録第3230254号 考案の名称【音量感知式飛沫感染防止用警報装置】
3. 本考案を実装した製品化までを請け負ってくれる事業者
4. 音量と飛沫の関連検証データ作成（検査機関）
5. 製品化への資金助成
6. 製品普及に関する告知 PR 支援

提案の詳細 ※様式自由

実装機能

- ① 電源部（充電または電池）
- ② 集音マイク（感度等調整ボリューム）
- ③ 音声出力変換～発光／発音アラーム
- ④ 音声データ変移記録
- ⑤ 発信回路
- ⑥ それらを搭載した本体ボディ
 - 地域行政を絡めたご当地マスコット風
 - 飲料メーカーとのタイアップ
 - 飲食店の PR グッズ
- ⑦ その他
 - 除菌対策・防滴仕様等

※ 各記入欄は適宜拡張して構いません。

※ 様式自由となっている項目は、別ファイル（ワード又は PDF 形式）で提出していただいても構いません。

※ その他、任意の参考資料も提出いただけます。

※ 応募いただいた時点で、上記内容（氏名、メールアドレス及び電話番号を除く応募用紙に記載されたすべての内容）の取扱いを県に一任するものとし、県が上記内容を第三者へ情報提供することに同意したものとします。